

一人一人の意欲や可能性に応える多様な学びを通して、個性を生かし社会で輝ける人を育てる学校

育成を目指す資質・能力に関する方針
（グラデュエーション・ポリシー）

- 自分の能力に気づき、主体的・自律的な学びに真摯に取り組む生徒を育てます。
- 多様な価値観を尊重して他者と協働し、共に成長する生徒を育てます。
- 夢や希望を抱いて未来を描き、その実現にチャレンジする生徒を育てます。

教育課程の編成及び実施に関する方針
（カリキュラム・ポリシー）

- 基礎基本の充実から応用発展まで、個別最適な学びを提供します。
- 多様な選択科目、学校設定科目を開講し、一人一人のキャリア形成のための学びを実現します。
- キャリア発達を促すため、総合的な探究の時間を軸とした教科等横断的な活動を実施します。
- 心身の健やかな成長と豊かな人間性・社会性の育成を図る多様な特別活動を実施します。

努力点	学校自己評価				学校関係者評価
	本年度の具体的方策	評価指標	評価結果	次年度以降への改善策	
安全・安心な学校	いじめを許さない学校づくり、問題行動の未然防止（生徒指導部）	本校の教育活動に関するアンケート（生徒対象）のいじめ防止に関する項目の評価が3.3以上A、3.3未満2.9以上B、2.9未満C（昨年度3.23）	B 3.15	B	○全体的に安全・安心な学校づくりに懸命に努力していることがうかがえる。 ○「健康であるとは？」と質問すると、身体の健康のみを回答することが多くある。精神的・社会的な側面からも回答が得られるように工夫してほしい。 ○SCへの相談、生徒情報交換会における共有など、相談しやすい環境とその活用法が確立されていて良い。 ○「個別的教育支援計画」作成のためには、当該生徒の保護者に作成の趣旨をよく理解してもらうことが前提となるので、評価の指標に保護者の意識が確認できるような項目があると良い。また、「困り感」のある生徒一人一人を理解するツールとしても活用し、多くの生徒に寄り添ってほしい。
	生徒一人一人の健康管理能力の育成、施設の安全管理の徹底（保健部）	保健室だより等を活用し、生活習慣や健康についての意識の向上を図り、年度末にアンケートを実施した結果、健康を意識して生活を送ることができた生徒の割合が80%以上A、80%未満65%以上B、65%未満C	B 75.6%		
	生徒の困り感に寄り添う支援、生徒一人一人の長所を活かす指導の実践（相談部）	生徒面談等から得られた情報をもとに、①教員間やSC・SSWとの連携を行うことができた②「個別的教育支援計画」を早期に作成し教員間で共有できた③生徒情報交換会で共有する情報を生徒指導に活かすことができた。以上3項目について、事後アンケートを担当に実施し、満足できている割合が、80%以上A、80%未満60%以上B、60%未満C	B 77%		
キャリア教育の充実	指導と評価の一体化のさらなる推進（学習部）	履修認定された科目すべての単位が修得されたA、履修認定のみにとどまる科目が減少したB、増加したC（R5:4科目6名）	B 2科目1名	B	○「行事を通して仲間と協力したり信頼したりすることができた」と感じる生徒が一定の割合でいる。生徒の実態を考えると、評価基準を十分にクリアしているのではないかな。また、生徒それぞれのイメージする「協力・信頼」の内容が異なる可能性もあるので、これらに関する具体的な評価指標を設けるとさらに良い。 ○「各種行事を通して、豊かな人間性・社会性の育成」、「体験的活動の充実、個に応じた進路支援の実践」については、参加率の向上を目指すだけでも素晴らしい取組と言える。引き続き生徒の成長を促すために意欲的に支援してほしい。
	各種行事を通して、豊かな人間性・社会性の育成（特別活動部）	各行事の内容等を精査し改善することで、生徒アンケートの「行事を通して仲間と協力したり信頼したりすることができた」と答えた割合が70%以上A、70%未満60%以上B、60%以下C	B 65%		
	体験的活動の充実、個に応じた進路支援の実践（進路部）	①体験的活動への参加生徒のべ数が、前年度比30%以上増（前年度参加生徒のべ76名）。②個に応じた指導の結果、進路未定率が25%以下。 ①②ともに達成すればA、①②いずれか達成できればB、①②両方できなければC	A ①47% ②16%		
開かれた学校づくり	本校の強み・魅力の発信、地域との連携・協働（渉外部）	保護者・同窓生にとって有意義な事業を企画し、広報活動に取り組んだ結果、総会・研修会・出藍祭の参加者数の向上率が前年比で平均20%以上A、20%未満10%以上B、10%未満C（R5:PTA総会41名、出533名、19.8%増）	A 28.5%	B	○生徒・保護者への情報提供、魅力ある内容の情報発信を引き続き行ってほしい。一方、地域社会から発信される情報をこまめに収集することは容易ではない。しかし、地域におけるボランティアやイベントの紹介は大切なので、積極的に情報提供してほしい。 ○2科目の新設、履修モデルの追加については、丁寧な検証と見直しをすると良い。
	キャリア形成を目指した、履修モデルの編成（教務部）	①学校設定科目の新設②科目配置の見直し③具体的な履修モデルの提示がすべてできたA、上記2点に取り組めたB、取り組みが不十分であったC	B ①②の2点		